


大分市地域まちづくりビジョン

# 明野地域 まちづくりビジョンフォローアップ会議 通信 第2号

発行：令和3年2月15日 明野地域まちづくりビジョンフォローアップ会議事務局

9月30日（水）に開催された明野地域まちづくりビジョンフォローアップ会議についてご報告します。当日は市から委嘱を受けた地域代表が参加し、地域の課題や将来像、地域と行政それぞれの取組状況などを共有しました。

## ■フォローアップ会議の目的

個性を活かした魅力ある地域づくりを推進するため、市内13地域において、地域が目指すまちの将来像やその実現に向けた取組みをまとめた「地域まちづくりビジョン」を策定し、平成30年7月に市長に提言しました。

ビジョンの実現に向けて市民と行政と一緒にまちづくりを進めるため、行政に望むこと、地域や私たちができることのテーマでビジョンに掲げる事業の進捗状況を報告し、その進め方や課題などについて情報共有や意見交換を行うものです。

## ■明野地域ビジョンフォローアップ会議

日時：令和2年9月30日（水）18：00～

場所：明野支所2階大会議室

### 【議事】

- ①会議の公開について
- ②「地域まちづくりビジョン」及び「地域まちづくりビジョンフォローアップ会議」概要について
- ③地域まちづくりビジョンに掲げる事業の進捗について
- ④意見交換
- ⑤今後の予定について

- 【会長】山田 軍才（明野校区公民館長）  
 【副会長】小野 昭三郎（明野地区自治会連合会会長）  
 【委員】明野地区自治会連合会・明野地区社会福祉協議会・明野地区婦人団体連合会・明野地区体育協会・明野地区老人クラブ連合会  
 明野地区小中学校PTA・明野地区防災士連絡協議会・明野地区クリーン推進員協議会・明野地区青少年健全育成連絡協議会  
 明野地区民生委員児童委員協議会・明野地区健康推進員協議会・明野地区人権尊重推進協議会（以上団体から18名）計20名

## ■ビジョンに掲げる取組の進捗について（抜粋）

### ○提言1「多世代が交流する地域コミュニティの新構築を」

#### 【事業1 コミュニティ新構築のための多世代交流】

- ・「多世代交流プラザ」建設について大分市は地域の代表者、関連企業等と意見交換を実施（行政）
- ・「地域コミュニティシアター事業」「明野の歴史・魅力発見事業」の取組みを開始（行政・地域）

### ○提言2「明野を総合防災拠点に」

#### 【事業3 幹線道路整備と歩道の改良】

- ・通学路である市道明野南13号線の歩道拡幅工事を実施（行政）
- ・県道松岡日岡線の猪野団地入口交差点の改良工事に着手（行政）
- ・団地内美化活動として歩道清掃や植栽を実施（地域）
- ・各団体連携による「すこやかパトロール」を実施（地域）



歩道上の花壇への植栽活動

### ○提言3「新しい試みと魅力の発信を」

#### 【事業4 公園緑地の整備と活用】

- ・緑地や歩道の除草や植栽を実施（地域）
- ・令和元年度に奥山公園へ防球フェンスを設置、令和2年度にうぐいす公園に遊具を設置（行政）

### ○提言4「多様な文化活動の広がりや深まりの推進を」

#### 【事業13 明野ブランドの創生】

- ・クリーンアップ歩こう会 in 明野（実施日：令和元年11月2日、参加者：約520名）の実施（行政・地域）
- ・婦人団体連合会による県内図書館事業の視察（実施日：令和元年9月11日）（地域）

※明野地域の4つの提言、13の取組については裏面をご覧ください

## ■意見交換での主な内容（抜粋）

### 「提言1事業番号1」について

○明野支所を核施設としたリーディング事業である「多世代交流プラザ」建設について先が見えないので計画を示してもらいたい。

➡新たな施設の建設は市域全体の均衡ある発展を見据え慎重な議論が必要である。今後もフォローアップ会議等のなかで皆さんと意見交換していきたい。

○「多世代交流プラザ」建設への明野の強い意見を受け止め検討していただきたい。



### 「提言3事業番号6」について

○コミュニティバスやグリーンスローモビリティなどのルート設定の際には明野には地理的特性があるため事前に地元と協議していただきたい。

➡路線バスの代替となるコミュニティバスや新たなサービスの創出を目指すグリーンスローモビリティの実験運行においては、市民の皆さんと協議していきたい。

### 「提言1事業番号12」について

○地域で活動する福祉協力員の役割について具体案は。

➡地域により状況が違うため制度化するのは難しいが大分市社会福祉協議会とともに地区・校区社会福祉協議会の状況を聞きながら検討したい。

### 「提言2事業番号3」について

○猪野団地入口交差点改良工事の着手や、明野中学校正門前歩道拡幅工事を実施していただいたことに感謝したい。

○渋滞が発生している明野東1丁目交差点等の改良と県道松岡日岡線の用途地域変更をお願いしたい。

➡明野東1丁目交差点の渋滞について道路管理者である大分県は交通量調査を実施しており「状況は把握している」とお聞きしている。

➡用途を変更すると住環境が変わるため用途地域変更については慎重な対応が必要となる。



市道明野南13号線歩道拡幅工事  
（明野中学校正門前）

### 「提言4事業番号13」について

○子どもの教育の向上を図りたい。明野から著名なスポーツ選手が輩出されており特にスポーツ面に力をいれてはどうか。

➡今後、地域の皆さんと協議していきたい。



## ■ふれあい市長室～あなたの地域のまちづくりビジョン～

今年度は、地域でまちづくりビジョンに関連した活動を行う団体を対象に開催いたしました。

日時：令和3年2月8日（月） 11時00分から

場所：あけのアクロスタウン内 アクロスホール

対象団体：明野地区地域婦人団体連絡協議会

■お問い合わせ：大分市市民部明野支所 ☎558-1255

## 明野地域まちづくりビジョン『提言』

### 提言1 多世代が交流する地域コミュニティの新構築を

明野地域のこれまでのコミュニティ形成においては、恵まれた生活環境と職縁の役割が大きかったが、時代の変遷とともに変化する生活様式や価値観に対応できる新しい地域ネットワークが必要である。隣人の顔が見えるふれあいを積み重ね、多世代が交流する地域コミュニティの新構築への行動が求められている。

【事業番号1, 8, 9, 10, 11, 12】

### 提言2 明野を総合防災拠点に

安心して暮らせるまちを実現するためには、地域が一体となった防災・防犯対策が不可欠である。幹線道路や公園などインフラの骨格が充実した立地特性を生かし、災害避難時を想定した道路整備等のハード面からご近所の安否伝達等のソフト面まで、まちづくりの知恵を持ち寄り、地域防災を研究・実施する大分市の総合的な防災拠点となることが望まれる。【事業番号2, 3, 5】

### 提言3 新しい試みと魅力の発信を

新産業都市企業群を支える新興団地起工から50年、ゆとりある住まいは生活者の利便性だけでなく、生産活動の一翼をも担っている。そのような明野には、新しい住まい方を提案する住環境整備、多世代交流を推進する施設整備、利用実態に即した公園整備など、新しい試みのモデル地区として、その魅力の発信が必要である。

【事業番号4, 6, 7】

### 提言4 多様な文化活動の広がりや深まりの推進を

明野地域の三大行事（大体育祭、明野まつり、芸能祭）は住民交流の場として定着し、地域の融和や団結への期待は今も大きい。交流による出会いは、人と人をつなぎ、まちへの愛着と文化をはぐくみ、次代の担い手育成の契機となる。交流文化の灯が絶えぬよう、多様な文化活動の広がりや深まりを推進したい。【事業番号13】

## 明野地域まちづくりビジョン会議

平成30年7月

事業番号	取組名	概要
1	コミュニティ新構築のための多世代交流	高齢者の技能や技術、知識の継承、さらには生きがいづくりや居場所づくりの解決を図るために、多様な組織や人材が活動する拠点施設が必要である。建設の際には、支所の配置、在り方について検討した上で、支所を核施設に図書館や各種交流施設、研修施設等を複合した「多世代交流プラザ」を建設する。
2	明野を総合防災拠点に	明野は地理的、地勢的にも優位性にあることから、防災訓練機能を備えた拠点施設を主とし、子ども科学館を併設した複合的な施設を建設する。
3	幹線道路整備と歩道の改良	<ul style="list-style-type: none"> <li>慢性的な交通渋滞解消のため、庄の原佐野線の早期延伸と、それに先行する大分臼杵線の4車線化を要望する。</li> <li>松岡日岡線の交差点改良、沿線の用途地域変更による地域商業の活性化を推進する。</li> <li>団地内の美化とともに災害発生時と交通安全を見込んだ無電柱化と、歩道のバリアフリー化を図る。</li> </ul>
4	公園・緑地の整備と利活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園が日常的な交流の場となるよう、マルシェやフリーマーケットを開く。</li> <li>スポーツ利用のゾーンは憩いのゾーンとは別に、効果的な整備ができるようにする。アクティビティ器具を導入し、多世代に魅力ある運動遊びを提示する。</li> </ul>
5	防犯のための環境設計	社会状況の変化によって、防犯や交通安全の機能が相対的に低下してきている。子どもの見守り活動の実施、危険な場所の点検や改善など、防犯性の高いまちとなるよう環境設計を行う。
6	コミュニティバスの運行などの公共交通網の整備	事業者、医療・福祉機関、自治会、行政の協働でコミュニティバスの運行を行うなど、さまざまな方法により公共交通の整備を検討する。
7	多様な世代に対応した住宅の供給	老朽化した公営住宅が再建の段階にきている。多様なニーズに対応できる住宅を供給するために、高層化やエレベータをつけるなど改良が望まれる。
8	地域のつながり強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域のつながりを強化するため、コミュニティ・スクールの導入に向け、地域、中学校、小学校、家庭の連携を深める。</li> <li>子ども同士および子どもを介したコミュニティの新構築を図り、ライフステージに応じた地域での役割を用意する。</li> </ul>
9	ふるさと意識の醸成	近年では、小学生へ明野の歴史講座や明野音頭の指導を行っており、ふるさと意識を醸成していく良い機会ととらえている。子どもたちのふるさとへの関心を深め、地域活動への参加意識を高める。
10	地域グループの創生と次世代のリーダー育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の活力を継続的に発揮するには、子育て世代が地域活動に関わることが最良のエネルギーであることから、横のつながりをつくり上げ、地域グループによる積極的な活動を行う。</li> <li>他地域と比べ青年層の就業者が多いことから、地域行事に積極的に参加するよう働きかけ、次世代のリーダーとして育成する。</li> </ul>
11	自治会区域の再検討	都市内分権を進める上では、自治会区域の再検討が必要である。円滑な運営、きめ細かな世話活動のために、実態を考慮し可能な限り規模の均等化を行う。
12	高齢者を支えるネットワークの構築	高齢者を地域でお互いに見守り・支え合うネットワークを構築し、豊かな地域福祉を実現する。
13	明野ブランドの創生	住民の交流と融和、生活のしやすさや教育環境、明野らしい文化・アート活動等を地域の価値として、明野が誇る地域ブランド・イメージを強化する。